

野間 傳 治 展

2022
12月10日(土)
→
2023
3月5日(日)

開館時間 / 9:00~17:00
(入場は16:30まで)

休館日 / 月曜日
(祝日の場合は直近の平日)

入館料 / 一般310円・学生160円
高校生以下または18歳未満無料
※大人団体(20名以上) 250円
※65歳以上の方250円
※障害者手帳をお持ちの方
及びその介助者1名は無料

野間仁根 

バラのミュージアム

(今治市吉海郷土文化センター)

〒794-2103 愛媛県今治市吉海町福田1290番地
TEL/FAX (0897) 84-2566

公式HP





《スペースの構図2003》2003年

野間傳治^{の ま でんじ}は、今治市吉海町（旧越智郡津倉村）出身の洋画家・野間仁根^{の ま ひとね}の長男として生まれ、仁根と同じく画家の道歩みました。幼い頃には仁根と共に故郷・大島を巡りながら風景画の描き方を習い、東京芸術大学を卒業後は海外へ留学、銅版画の技法を学びました。人物を中心とした油彩画や銅版画の作品を多数描いており、作風も写実的なものから非現実的なものまで様々です。本展では、油彩画の大作を中心に展示いたします。

野間 傳治

Noma Denji



◆略歴◆

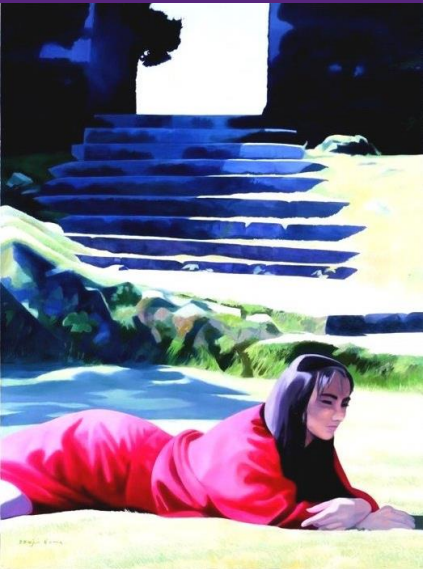
- 1935年 仁根の長男として東京都に生まれる。
- 1958年 東京芸術大学卒業。
- 1958-65年 エコール・ド・東京展に参加。
- 1960-62年 仏国へ留学。銅版画技法を学ぶ。S.W.ヘイター氏に師事。
- 1963-64年 米国へ留学。
- 1964-65年 米国にて銅版画講師を務める。
- 1965年 一陽展第11回展覧会で青麦賞受賞。
- 1966年 日本美術家連盟 版画部会員となる。
- 1969年 一陽会会員に推挙される。
- 1987年 一陽会版画部委員に推挙される。
- 1984-93年 鷹の会展に油画を出品。
- 1988-99年 現代美術展等に油画を出品。
- 2005年 6月20日、70歳で逝去。父、仁根と同じ墓所に眠る。



《夏の海辺》1987年



《Mis.Y.ASANO(金城城址にて)》1999年



《城趾》1988年

アクセス

愛媛県側から

- [自動車] しまなみ海道大島南ICから約10分
- [バ ス] 松山市駅／今治駅より大三島行き高速バスにて「吉海支所」下車、バス停より徒歩15分

広島県側から

- [自動車] しまなみ海道大島北ICから約10分
- [バ ス] 広島バスセンター／福山駅前よりしまなみライナーにて大島BS下車、島内路線バスに乗換、「幸^(さいわい)」下車、バス停より徒歩10分

